

目次／テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」表紙／いわて自然ノート「北上市で化石を探して」 p.2-3 /テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」 p.4-5 /トピック展案内「本県初のプロ棋士誕生」/事業報告「博学連携事業 岩手県立平舘高等学校の生徒さんによる操り人形装束製作」 p.6 /事業報告「チャレンジ!はくぶつかん」/施設案内「100段の階段、令和の大改修」 p.7 /インフォメーション p.8

## テーマ展

# 北上川上流 五大ダム探検大作戦

北上川上流の五大ダムを中心に、役割やしくみ、歴史、自然など、わかりやすく紹介します。  
県博で五大ダムについて探検してみよう。

## ■いわて自然ノート

# 北上市で化石を探して

主任専門学芸調査員 佐藤 修一郎(地質部門)

### ■はじめに ～北上市の地形と地質～

北上市の地形は、西に奥羽山脈、市内を南北に流れる北上川流域に北上盆地、国指定史跡の国見山廃寺跡が残る北上川東岸丘陵に区分されています。このうち北上盆地と北上川東岸丘陵を併せた地域を北上低地帯と呼んでいます。概ね約2300万年前(新第三紀中新世)から現在までの比較的新しい時代の地層が分布しています。奥羽山脈や北上川東岸丘陵からは、日本列島の形成に関わる痕跡をうかがうことができます。また西方から流れる和賀川や夏油川、またその各支流流域では、魚類・貝類・植物・哺乳類化石など各時代に相当する多様な化石が産出します。

今回はこの北上の地を巡り、出会うことができた化石とその産地についてご紹介します。

### ■菱内川の魚類化石

北上市和賀町横川目を流れる菱内川、その周辺には菱内層と呼ばれる約900万年前(新第三紀後期中新世)の地層が分布しています。砂岩と泥岩が繰り返し重なる砂岩泥岩互層を主に、そこに火山灰が堆積して生じた凝灰岩が挟まれています。



ヒシナイワシ化石産地の露頭

この地層からは魚類化石が産出することで有名です。この魚はヒシナイワシと呼ばれています。当時北上で教鞭を執っていた佐藤二郎氏が研究を進め、ニシン科魚類の新属新種として記載されたものです。化石は、魚骨が明瞭に識別でき、さらには鱗の化石が大量に見つかり

ます。



ヒシナイワシ化石



尾びれの化石?



魚鱗化石

同じ地層からは貝類や植物の化石も一緒に産出します。海の生き物と植物が同じ地層から見つかる事実から、当時この地が陸に近い沿岸部に位置していたことが推測されます。



植物化石

古第三紀の終わり頃から始まる日本海拡大期にはまだ海底下にあったこの地は、激しい海底の火山活動やプレート運動に伴う地殻変動によって徐々に隆起し

ていきました。そしていよいよ奥羽山脈が形成される、その直前の痕跡が菱内川周辺には残っています。

### ■古仙台湾の広がりとは貝類化石

約500万年前(新第三紀鮮新世)、北上市には古仙台湾と呼ばれる海が広がっていたと言われていています。東に北上山地、西に奥羽山脈を見ながらその間の北上低地帯に海水が流れ込み、今の仙台湾周辺から北上市を北限とする広い範囲に入り江状の海を形成していました。

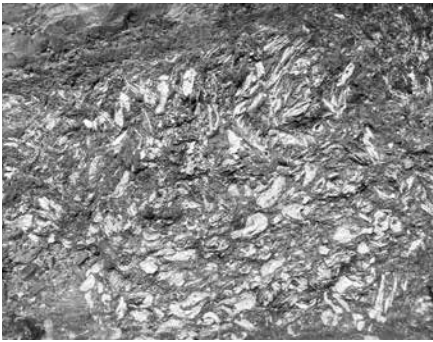
昔は海だったと言われても、にわかには信じ難いことではありますが、その証拠は北上市の各所に残っています。

美人の湯として紹介される瀬美温泉、その駐車場の対岸には夏油川によって侵食を受けている露頭が広がっています。残念ながら植生が進み全容を観察することが難しくなっていますが、かつては堆積過程が一目できる良質な露頭が広がっていました。下の写真は、この場所の少し南を流れる外鱗沢の露頭での一枚です。青灰色の泥岩中に綺麗な貝化石を見つけることができました。



外鱗沢の露頭に産する貝化石

北に場所を移すと、鈴鴨林道に沿って鈴鴨川が流れています。その支流ヨリ沢沿いには一面にカキの堆積層が広がっています。その下層には大量の貝化石も見つかります。かつてはこの場所からクジラの椎骨も見つかっており、当時の海では活発な生命活動が営まれていたことが想像できます。



鈴鴨川ヨリ沢のカキ化石層

さらに北に移動し和賀川にかかる石羽根ダムまで来てみます。ダムの下流側の河床ではカキ化石を観察することができます。ここより北からは同様の化石群が見つかっておらず、現段階ではここが古仙台湾で堆積した地層の北限とされています。



石羽根ダム

これら一連の地層は竜の口層と呼ばれ、古仙台湾で砂泥が堆積した海の地層（海成層）です。産出する貝類化石は冷温帯（気候区分で温帯だが冷帯に近い地域）に生息していた種とされています。またカキの化石からはその場所が汽水域（淡水と海水が混じりあった水域）であったことが推測され、当時の環境の推定に役立ちます。

竜の口層で有名なのは、奥州市前沢生母で見つかったマエサワクジラやミズホクジラ、骨質歯鳥こっししちやうといった大型の動物化石です。竜の口層は北上市のみならず、古仙台湾が広がっていたとされる宮城県内や奥州、平泉、一関といった岩手県の

各地から見つかっています。昨年は新たに3ヶ所の竜の口層の露頭を確認することができました。今後も引き続き調査を継続し、古仙台湾の詳細な分布の解明に努めたいと考えています。

### ■和賀川の植物化石

北上川の支流にあたる和賀川の下流域には岩崎新田層と呼ばれる約110万年前（新生代第四紀）の地層が分布しています。過去に行われた調査では、ゾウやくうていりい偶蹄類（シカ）の足跡化石、植物や昆虫の化石などが見付き、河川敷には下の写真のような案内板が設置されました。



化石等案内板（和賀川グリーンパーク）

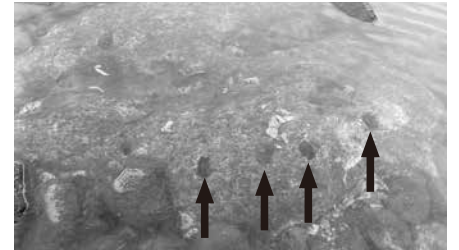
しかし実際に現地に赴くと河岸や河床・中州の様子などは当時の報告とはだいぶ異なります。足跡化石が見つかった場所は、平成4年の台風で消失してしまったそうです。下の写真は現在の様子ですが、水量が少ない時には河岸に泥岩質の河床が姿を現します。



和賀川下流の様子

この地層からはオオバタグルミの堅果化石が産出します。この化石は、新生代新第三紀の終わりから第四紀始めの世界各地の地層から見つかっており、広く繁

栄した植物であることが伺えます。



河床のクルミ化石

クルミ化石に関する日本で最初の報告は、東北帝国大学（現 東北大学）の早坂一郎氏によりまとめられた論文です。論文ではバタグルミという名称で報告されています。この論文に用いられたクルミ化石には、あの宮沢賢治が花巻市の「イギリス海岸」で採集した化石が含まれます。和賀川流域には今も「イギリス海岸」と似たような環境が残っています。



オオバタグルミの堅果化石

数ヶ月置きに現地に赴くと、その間に河床の侵食が進み、新たな化石が顔を出していることがあります。そのままでは川の流れと共に流出してしまうので、保護という観点で採集しています。数を目にするると一口にオオバタグルミといっても、その形状には差異があるように感じます。単なる個体差なのか、その違いが示す意味に今後目を向けていければと考えています。

今回ご紹介した観察地には立ち入りに許可が必要な場所を含みます。また川沿いの場所や野生動物の出没、落石の可能性のある場所など観察には危険が伴います。十分な装備と準備が必要であることを書き添えさせていただきます。

## ■展覧会案内

## テーマ展 「北上川上流 五大ダム探検大作戦」

主催／国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所、岩手県立博物館、公益財団法人岩手県文化振興事業団

## ■はじめに

岩手県には、私たちの暮らしを支えているダムが49カ所あります。一口にダムといっても、事業者ならば国や県、市町村、個人の場合や、設置目的ならば、発電や洪水調節、灌漑用水など、様々です。生活に身近でありながら実は知られていない面もたくさんあります。今回のテーマ展では、国土交通省東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所ご提供のパネルや資料を中心に、北上川上流五大ダムに焦点をあて、ダムの役割、しくみ、歴史、自然、そこで働く人々など、多方面にわたって分かりやすく紹介します。

土木学会選奨土木遺産「北上川上流総合開発ダム群」(2021年)に認定された五大ダムについて新たな発見をしに県博に足を運んでみませんか。

## ■ダムの役割

## ダムとは？

川をせき止めて水を貯え、水の量を増やしたり減らしたりする施設で、高さが15m以上のものを「ダム」といいます(15m未満のものは「堰」)。

ダムをつくる主な理由は、治水(川が氾濫したり濁れたりしないように水の量を調節して水害から私たちを守る)や利水(私たちの日常生活や田畑、工場などで使うため)、発電など様々な目的のためにつくられます。

ダムをつくる際には、多くの事前調査が行われます。建設予定地の岩盤や地質、周辺の生物調査、埋蔵文化財のための発掘調査も必要です。また、本体工事に入る前に、資材置き場や川の流れ、資材運搬のための道路など多くの準備も計画の中に盛り込まれます。そうした様々な工程を経てようやく本体工事に入ります。そのため長い年月を要し、計画後4、

50年もかかって完成するダムもあります。

## ダムの種類

<コンクリートダム>：基礎岩盤が硬い場所にコンクリートでつくられるダムで、横からみた断面が直角三角形に近い「重力式ダム」、弓なりに反った「アーチ式ダム」、「中空重力式ダム」、「バットレス式ダム」などに分かれます。

<フィルダム>：土(アース)や石(ロック)を積み上げてつくるダムです。昔から溜池などは、この形でつくられてきましたが、今では機械を使って、大きなダムもこの形でつくられています。フィルダムは、遮水壁(水を止める部分の壁)の構造により「ゾーン型」「表面遮水型」「均一型」などに分かれます。

これらを組み合わせたダムも数多くあり「複合ダム」といいます。

## ■五大ダムを知ろう

## 五大ダムがつけられた理由

北上川周辺に住む人々は古くから洪水被害にあっていました。そうした被害の軽減を図るために昭和16年(1941)、「北上川上流改修計画」が立てられまし

た。その後、昭和28年(1953)に北上川の流域開発を目的として策定された「北上特定地域総合開発計画」によって、洪水調節や発電、灌漑用水などの供給を主とした多目的ダムが建設されていきます。それが、次に紹介する五大ダムです。

## 田瀬ダム(花巻市東和町)

昭和16年(1941)に猿ヶ石川をせき止めてつくられました。戦争で中断し、昭和25年(1950)再開、昭和29年(1954)10月に完成しました。国直轄ダム第一号の重力式コンクリートダムです。

## 湯田ダム(和賀郡西和賀町)

重力式コンクリートとアーチの両方の特性を備えている湯田ダムは、和賀川をせき止めてつくられ、完成までに11年の年月(昭和28年着工、昭和39年完成)がかかりました。水没補償は600世帯以上(当時の最大規模)、鉄道付け替え15.3km、道路付け替え39.9km、これらの対策を講じてようやく完成しました。

ダム建設に伴ってできた錦秋湖のほりには、秋田自動車道のパーキングエリアもあり、秋になると色鮮やかな紅葉で染まり、多くの観光客で賑わいます。



『四十四田ダム』パンフレットより抜粋



晩秋の湯田ダム(北上川ダム統合管理事務所画像提供)



会期：令和5年6月10日(土)～8月20日(日) 会場：特別展示室、ミニプラザ、グランドホール

#### 四十四田ダム (盛岡市)

四十四田ダムは、北上川本流の上流部をせき止めてつくられました。ダム建設予定地は、地形や地盤、旧松尾鉱山からの酸性水など悪条件ばかりでしたが、重力式コンクリートとアースフィルの複合ダム、酸性水対策のためにステンレス材を使用する等、様々な工法を採用して昭和43年(1968)に完成しました。魚の棲めない「死の川」と称された北上川は、水質(PH)も改善され、今では魚や鳥も棲む清流となっています。



四十四田ダム コンクリートダムを主体に、左右岸がアースダムの複合ダム(北上川ダム統合管理事務所画像提供)

#### 御所ダム (盛岡市)

奥羽山脈から流れる雫石川をせき止めてつくられた御所ダムは、五大ダムの中で最も新しく(胆沢ダムを除く)、技術の粋を結集して昭和56年(1981)に完成しました。湛水面積(ダムの貯水池に限界まで溜まった時の水面面積)が最大の御所ダムは、洪水調節だけではなく、発電や盛岡市の上水道、盛岡市周辺から紫波町の農業用水など多目的ダムとして利用されています。また、御所湖周辺は温泉や広域公園などが拡がり、観光やレクリエーションにも利用されています。

#### 石淵ダム・胆沢ダム (奥州市)

昭和16年(1941)に立てられた「北上川上流改修計画」に基づき、昭和28

年(1953)に完成した石淵ダムは、日本最初のロックフィルダムでした。治水、かんがい、発電を目的とした多目的ダムでしたが、機能強化のために新たに平成25年(2013)下流2km先に胆沢ダムが完成し、引き継ぎました。石淵ダムは現在胆沢ダムでできた奥州湖の底に沈んでいます。

#### ■発掘調査で見つかった埋蔵文化財

ダム建設には広大な面積を必要とします。当然、そこには古来の人々の営みもあります。水没を免れない遺跡では、事前に発掘調査が行われます。

当館の総合展示室で展示している<sup>したない</sup>遺跡出土の大型土偶(重要文化財)も、御所ダムを建設するために行われた発掘調査で見つかったものです。

同じく御所ダムの建設工事に伴い、塩ヶ森I遺跡の発掘調査が行われ、その結果、大型住居跡、食糧貯蔵に使われた土坑、土器、石器、土偶が多数出土しました。中でも人の形をした板状の土偶は、50点以上も出土しています。



塩ヶ森I遺跡 土偶(岩手県蔵)

胆沢ダム建設でも、周辺で多くの遺跡が見つかっています。平成20年(2008)に国史跡に指定された<sup>おおすずかみ</sup>大清水上遺跡は、放射状に並ぶ大型住居跡とともに多くの土器や石器が出土した縄文時代前期(約5000年前)の環状集落跡です。



大清水上遺跡出土土器  
(奥州市教育委員会蔵)

#### ■川と人の歴史と自然

北上川は東北地方で一番大きな川であり、流域の歴史と文化を育んできました。

博物館の常設展示には川と人とのつながりを示す様々な資料があります。川の恵みを糧に暮らした縄文人が残した遺物、江戸時代、南部藩による新田開発や<sup>はんらん</sup>氾濫に悩まされた北上川の河道切り替えの歴史、<sup>おぐりぶね ひらたぶね</sup>小繰舟や鱒舟で物資輸送や交通に寄与した北上川など、長い年月にわたる人の営みが見て取れます。今回、テーマ展のトピック展としても紹介していますのであわせてご覧ください。

#### ■五大ダムと私たちの暮らし

昭和16年(1941)の田瀬ダム着手から多くの問題や課題、自然災害による事業見直しなどを経て、五大ダムや県内のダム建設は進められてきました。

ダム建設により、それまでそこにあった自然やそこに住んでいた人々の生活が一変したことも事実です。そしてまた、ダム建設により新たな被害が食い止められ、現在の私たちの暮らしが成り立っていることも事実です。

この展覧会で、私たちが未来へ伝えるべきことを様々な視点から見つけることができるのではないのでしょうか。

(主任専門学芸員 近藤 良子)

## ■トピック展案内

## トピック展 「本県初のプロ棋士誕生」

会期：令和5年4月26日(水)～令和5年8月31日(木)

令和5年4月1日、本県出身者として初めて、将棋のプロ棋士、小山怜央四段(釜石市出身)が誕生しました。

小山四段は2002年(平成14年)3月、小学校2年生で母、弟と一緒に将棋を始めました。ほどなく地元釜石市内の将棋道場に通い、研鑽を積みます。以来、プロ棋士に至るまでアマチュアとして抜きん出た実力を示し、活躍を続けました。一方で、小山四段のプロ棋士への道のは、順調なものではありませんでした。2011年3月11日、東日本大震災で自宅が流し、将棋に集中することが困難な状況が長きにわたって続きました。また、プロ棋士養成機関である奨励会への入会・編入試験には2度にわたって不合格。道を阻まれます。しかしそれ

でもなお、小山四段の将棋への情熱は失われませんでした。

本トピック展では、小山四段が将棋を始めてからプロ棋士に至るまでの道のりをパネル展示や写真展示、トロフィーや盾ほか実物の戦績資料の展示を通して紹介します。さらに、将棋盤や駒・駒置台、扇子や書籍など、ご本人の所藏品・愛用の品を展示します。



第35回アマチュア竜王戦全国大会優勝トロフィー



東日本大震災後に、島朗九段が被災した小山四段(当時アマ)へ贈った扇子

あわせて、当館所蔵資料を中心に、「将棋歩式」「将棋図巧」をはじめとした、江戸時代出版された棋書の版本や写本、室町時代のうちに使用されなくなったコマ「酔象」が使用された詰将棋が記された「象戯綱目 奇戦 二擒将」などを展示します。



象戯綱目 奇戦 二擒将

小山四段が歩んできた道と戦績資料や愛用の品々、古将棋の世界の一端をぜひお楽しみください。

ご来館をお待ちしております。

(専門学芸員 村田 雄哉)

## ■事業報告

## 博学連携事業 岩手県立平舘高等学校の生徒さんによる操り人形装束製作

体験学習室ハンズオン資料の製作

人形芝居はテレビが家庭に普及する以前、庶民のささやかな娯楽として大変人気がありました。岩手県では花巻市東和町において倉沢人形歌舞伎(国選択無形民俗文化財)や奥州市江刺の広瀬人形芝居常楽座(県無形民俗文化財)が継承されており、根強い人気があります。

当館は平成27年度から県立平舘高等学校家政科と連携し、服飾文化の学習・普及を目的として、体験学習室内で装束をはじめとする様々なハンズオン資料の製作を行っています。現在同学習室には当事業で製作した鹿鳴館夜会服、大正期の女学生装束、雫石あねこ装束、水干、大漁バンテンを設置しています。令和4年度、ここに操り人形を加えることを目的として事業をスタートしました。

今年度は、昨年度製作した女型操り人形と一対になる男型の製作のほか、体験学習室の子ども用椅子の座布団、大正時代の女学生服に合わせた女学生鞆を製作しました。プロジェクトメンバーは平舘高等学校家政科被服班の生徒8名です。事業内容としては、担当教諭による授業時の指導を基本とし、当館学芸員による事業の意義や操り人形の歴史を解説する講座の開催、花巻市東和の倉沢人形歌舞伎伝承館の見学、東亜和裁・藤原智恵美氏・遠藤琉希氏による実技指導などを実施しました。

1月上旬には人形が完成し、2月に当館に引渡されました。今年度の特色として学校家庭クラブ活動における紫根染の指導者で西根むらさき染考案者・沢口ハ

ル氏から寄贈された茜染の生地を一部活用しています。そのため舞台上に生える美しさと気品を備えた人形装束となりました。これに生徒さんたちの自由な発想で製作された人形頭(紙粘土製)が見る人の笑顔を誘います。



製作物を披露する生徒さん

現在、操り人形は当館体験学習室にて、皆様のご来館をお待ちしております。

(主任専門学芸員 米田 寛)

## ■活動レポート

## チャレンジ! はくぶつかん

当館では、主に毎月第2・第3土日に、小学生向けの「チャレンジ! はくぶつかん」を開催しています（詳細は当館HPや館内掲示等をご覧ください）。受付で「チャレンジシート」をもらい、展示資料を見ながらクイズに答えるイベントで、長く人気があります。

展示資料近くに貼ったチャレンジマークの色が主なクイズなので、小さいお子様でも気軽に参加でき、ご家族やグループで広い館内を探しながら楽しく見学できます。毎月異なるテーマでクイズが作られていますので、今まで注目していなかった展示資料と新たに出会える機会になり、いつも新しい発見ができると好評をいただいています。

「チャレンジ! はくぶつかん」に挑戦

すると、カードにスタンプがもらえます（各月に1個）。スタンプが4個たまるごとに景品と交換でき、受付で当館オリジナルの文房具をもらえます。毎月挑戦して全てのスタンプがたまると皆勤賞となり、来館時に表彰して記念品を差し上げています。

令和4年度は23人の皆さんが最優秀チャレンジャー（皆勤賞受賞者）となりました。今年度も皆さんの挑戦を心よ



りお待ちいたしております。

★★★おめでとうございます★★★

5回目 小笠原多映さん、滝村菜々子さん  
櫻田真尋さん、悠悟さん

4回目 金子侑隼さん、莉子さん  
工藤歩由さん、大林美萌さん  
滝村紗和子さん

3回目 原慶期さん

2回目 近藤綺音さん、颯祐さん

初めて 山仁祐奈さん、佐々木新さん  
七木田千優さん、川嶋柚葉さん  
土井尻旺介さん、千紗さん  
土井尻惺介さん、細谷汰樹さん

他3名

※表彰風景は、館内2階のミニプラザ  
掲示板にてご紹介しています。

（専門学芸調査員 高橋 雅雄）

## ■施設案内

## 100段の階段、令和の大改修

令和4年6月30日～令和4年12月26日

岩手県立博物館は、岩手県制100周年を記念して、昭和55年（1980）10月に開館しました。当館駐車場から芝生広場までの「100段の階段」は、県制100周年にちなんでいます。

館の設計に携わったのは、岩手県民会館をはじめ、全国で多くの博物館、美術館をてがけた佐藤武夫設計事務所（現・佐藤総合計画）です。この階段と途中にかかるアーチは、松園地区の住宅街「人口域」から、博物館周辺の自然あふれる空間「自然域」へ来館者をいざなうゲートとして考案されたものでした。

近年、老朽化によるタイルのはがれが目立ってきたため、令和4年度に、平成22年（2010）以来の大規模な改修を行いました。工事は令和4年6月

30日に始まり、一度基礎まで解体した上で、新たな階段を作り直しました。工事は12月26日に終了いたしました。工事期間に際しては、階段の一部通行止めなど、大変ご迷惑をおかけしました。もとの広い姿に戻った階段をお楽しみください。なお、階段の上り下りが難しいお客様におかれましては、階段脇の通路を通った先に第3駐車場がございますので、お気軽にご来館ください。これからも多くの皆様に博物館に足を運んでいただけるよう、よりよい博物館を目指して環境整備に努めて参ります。

また、駐車場から芝生広場周辺には、明治天皇が明治9年（1876）の巡幸の際に車を停めて休んだことを記念する石碑のほか、国の重要文化財に指定され

ている民家佐々木家住宅と藤野家住宅、岩石園、植物園などの屋外展示があります。天気の良い日には、これらの展示を見ながら心地よい「自然域」でゆっくりされるのはいかがでしょうか。



アーチと新しくなった階段

（総務課 田原 かおり）



# 岩手県立博物館

IWATE PREFECTURAL MUSEUM

インフォメーション 〈令和5年6月1日～令和5年9月30日〉

## お知らせ

### ●夏休み期間中の臨時開館

7月31日(月)、8月7日(月)、8月14日(月)は、休まず開館します。

### ●資料整理にともなう休館

資料整理のため、9月1日(金)～9月11日(月)は休館します。

### ●敬老の日

9月18日(月)の敬老の日は、65歳以上の方の入館料を無料とします。

## 展覧会

### ●テーマ展「北上川上流五大ダム探検大作戦」

【国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所との共催】

令和5年6月10日(土)～8月20日(日)

会場：2階・特別展示室、ミニプラザ、グランドホール

北上川上流の五大ダムを中心に、役割やくみ、歴史、自然など、わかりやすく紹介します。県博で五大ダムについて探検してみよう。

#### ◆展示解説会

6月24日(土)、7月29日(土) 各14:30～15:30

会場：特別展示室、当日受付(定員15名)、要入館料

#### ◆日曜講座 当日受付 聴講無料 13:30～15:00

6月25日 講師：北上川ダム統合管理事務所職員

7月9日 講師：高木晃(当館学芸課長)

7月23日 講師：目時和哉(当館学芸員)

※詳細は下記「県博日曜講座」の欄をご覧ください。

#### ◆四十四田ダムの森を探検!

7月2日(日) 10:00～11:00 要事前申込・先着順

四十四田ダム周辺にはどんな生き物がすんでいるのかを当館学芸員が分かりやすく説明しながらご案内します。

定員：10名(小学5年生以上) 博物館集合・解散 参加費：無料

※募集期間、申込方法等詳細はHPに掲載します。

#### ◆四十四田ダム・御所ダムバックヤードツアー 参加費無料 要事前申込

〔四十四田ダム:8月5日(土)午前、午後の2回開催。御所ダム:7月30日(日)午後2回開催。所要時間各約80分、定員各20名〕

ふだんの見学コースにない「ダム操作室」「ダムゲート室」などを特別にご案内。

※募集期間、申し込み方法等詳細は展覧会開幕後、HPに掲載します。

#### ◆喫茶ひだまり(2階) 営業時間：10:30～14:30

展覧会オリジナル企画「オリジナルダムカレー」680円(1日10食限定)

「オリジナルダムカレー」注文のお客様には、オリジナルランチマット(全5種類のうち1枚)をプレゼント。どのダムのランチマットになるかはお楽しみ。

### ●テーマ展「早池峰山の花と森」

令和5年9月23日(土・祝)～12月3日(日)

会場：2階・特別展示室

北上山地の最高峰である早池峰山。世界に一つしかないその自然の魅力を、研究史とともに紹介します。

### ●トピック展「本県初のプロ棋士誕生」

令和5年4月26日(水)～8月31日(木)

会場：2階・いわて文化史展示室

本県初の将棋のプロ棋士、小山伶央四段(釜石市出身)を顕彰し、あわせて当館所蔵の近世将棋関連資料を紹介します。

## ■県博日曜講座

第2・第4日曜日 13:30～15:00 当日受付 聴講無料

当館学芸員等が岩手の文化や歴史、自然について解説します。

\*展覧会関連講座

6月11日「骨からわかる生物の進化」 講師：渡辺修二(当館学芸員)

\*6月25日「五大ダムが岩手県に果たしてきた役割」

講師：北上川ダム統合管理事務所職員

\*7月9日「ダム建設が明らかにした遺跡群」 講師：高木晃(当館学芸課長)

\*7月23日「水をしづめる一水面に浮かぶ歴史と民俗」

講師：目時和哉(当館学芸員)

8月13日「土偶にまつわる縄文の暮らし」 講師：金子昭彦(当館学芸課長)

8月27日「黒曜石・頁岩の産地から探る旧石器人の遊動域

～岩手県内遺跡を中心に～ 講師：米田寛(当館学芸員)

9月24日「いわての鮮新統に注目して」 講師：佐藤修一郎(当館学芸員)

## ■観察会・見学会

### ◆第85回地質観察会

令和5年7月2日(日) 10:00～15:30 要事前申込

講師：望月貴史(当館学芸員) 場所：大船渡市 現地集合・解散

大船渡市に見られる石炭紀の地層や化石の観察をします。

定員：20名程度(小学生は保護者同伴) 参加費：100円

募集期間：6月6日(火)12:00～6月11日(日)17:15 定員充足しだい締切  
電子メールまたは往復ハガキで先着順受付。詳細はお問い合わせください。

### ◆第86回自然観察会

令和5年7月17日(月・祝) 10:00～12:00 要事前申込

講師：当館学芸員 場所：滝沢市相の沢キャンプ場 現地集合・解散

森の中で昆虫などの生き物を観察しましょう。

定員：20名(5才以上、小学生までは保護者同伴) 参加費：100円

募集期間：令和5年6月10日(土)9:00～6月27日(火)13:00 定員充足しだい締切

※専用メールまたは普通郵便ハガキで先着順受付。詳細はお問い合わせください。

### ◆夏休みスペシャル ナイトミュージアム

令和5年8月4日(金)、5日(土) 要事前申込

要入館料(高校生以下無料) 16:30～17:30(16:00までに入館)

閉館後の博物館展示室をご案内いたします。暗闇の中で見る資料は、どんな表情をみせてくれるでしょうか。

定員：20名(小学生～中学生とその保護者)

募集期間：令和5年7月12日(水)9:00～7月19日(水)

専用メールで申込、抽選制、一度に5名まで予約可能です。

## ■週末の催し

### ◆ミュージアムシアター

毎月第1土曜日 13:30～15:00頃 講堂 当日受付 視聴無料

○6月3日 出会いとふれあい(実写/117分/一般向け)

山下清物語 裸の大将放浪記

○7月1日 夏休み直前アニメスペシャル(アニメ/77分/幼児～一般向け)  
リトルマーメイド

○8月5日 ひと夏の冒険(実写/93分/中学生～一般向け)

ハルをさがして

※9月はお休みします。

### ◆チャレンジ! はくぶつかん

毎月第2・第3土曜、日曜(9月は第3・第4)小学生向け 随時受付

チャレンジ! マークをさがしてはくぶつかんをたんけん!

6月10日・11日・17日・18日 テーマ：花(はな)

7月8日・9日・15日・16日・17日 テーマ：川(かわ)

8月12日・13日・19日・20日 テーマ：森(もり)

9月16日・17日・18日・23日・24日 テーマ：目(め)

※9月は第3・第4土曜、日曜に開催します。

### ◆たいけん教室～みんなのためそう～(事前申込制)

毎週日曜日 13:00～14:30 幼児(3歳以上で保護者同伴)・小学生10名程度

さまざまな遊びやものづくり、実験を体験してみよう。

※全プログラム有料です(材料費代/プログラムごと異なります)。

※予約は専用メール(一度に3名まで)で受け付け、応募多数の場合には抽選を行います。詳細は博物館ホームページをご確認ください。

6月	4日 チャグチャグ馬コづくり 11日 カラフルクモづくり 18日 手づくり万華鏡 25日 ウォータードームづくり	8月	6日 天然石のフォトフレーム★ 13日 お絵かきはんこ 20日 砂絵 27日 草花のそめもの
7月	2日 スライムであそぼう 9日 まが玉アクセサリー 16日 ちぎり絵のうちわ 23日 ミニさんざだいで★ 30日 化石のレプリカ★	9月	9月はお休みです。

★印は午前(10:00～11:30)と午後(13:00～14:30)の2回あります。

## ■利用のご案内

■開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)

■休館日 月曜日(月曜が休日の場合は開館、翌平日休館)

※7月31日(月)、8月7日(月)、8月14日(月)は開館します。

※9月1日(金)～11日(月)は、資料整理のため休館します。

■入館料 一般330(150)円・大学生150(80)円・高校生以下無料

( )内は20名以上の団体割引料金

※9月18日(月)敬老の日は、65歳以上の方の入館料無料。

※岩手子育てパスポート所有者で、パスポートに記載のお子様と一緒に来館された場合は、入館料免除となります。

※学校教育活動で入館する児童生徒の引率者は、申請により入館料免除となります。

※療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方は無料です。

岩手県立博物館だより 第177号 令和5年6月1日発行	編集 岩手県立博物館 〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷34 Tel. (019)661-2831 / Fax. (019)665-1214 発行 公益財団法人岩手県文化振興事業団 〒020-0023 盛岡市内丸13-1 Tel. (019)654-2235 / Fax. (019)625-3595
-----------------------------------	---